

地球温暖化対策実施状況報告書

2019年 7月 30日

（報告先）
横浜市長

住所 東京都板橋区小豆沢2丁目12番7号

氏名 医療法人 社団 明芳会
理事長 中村 哲也

（法人の場合は、名称及び代表者の氏名）

横浜市生活環境の保全等に関する条例（以下「条例」という。）第144条第2項の規定により、次のとおり報告します。

1 地球温暖化対策事業者等の概要

事業者の氏名又は名称 （代表者の氏名）	医療法人 社団 明芳会 中村 哲也				
事業者の主たる 事業所の所在地	〒174-0051 東京都板橋区小豆沢2丁目12番7号				
主たる事業の業種	大分類	P 医療、福祉			
	中分類	83 医療業			
該当する 事業者の要件	<input checked="" type="checkbox"/>	条例施行規則（以下「規則」という。）第89条第1項第1号該当事業者			
	<input type="checkbox"/>	規則第89条第1項第2号該当事業者			
	<input type="checkbox"/>	規則第89条第1項第3号該当事業者			
	<input type="checkbox"/>	地球温暖化対策事業者以外の事業者（任意提出事業者）			
	原油換算エネルギー使用量	3,002	kl	自動車の台数	台

2 計画期間及び実施年度

計画期間	2016	年度～	2018	年度	実施年度	2018	年度
------	------	-----	------	----	------	------	----

3 温室効果ガスの排出の抑制等を図るための基本方針

<p>【基本方針】 環境基本理念：明芳会は、資源とエネルギーの効率的利用を通じて、地球環境の保全に努め、快適で豊かな地域社会の実現に貢献します。 環境行動計画：（1）環境マネジメントの充実 （2）地球温暖化の環境負荷物質の低減 （3）資源の有効利用と廃棄物の低減 【主要なエネルギー使用設備の更新等の検討】 ①更新の対象となる主要なエネルギー使用設備 LED照明器具更新、老朽化した空調機の更新 ②上記①の設備を選択した理由 いずれの機器も設置後20年～30年経過し、エネルギー使用において非効率的である為。 ③設備更新スケジュール H28年度～H30年度</p>
--

4 推進体制



5 公表の方法等

ホームページ	アドレス	
窓口で閲覧	閲覧場所	医療法人社団明芳会 横浜旭中央総合病院 総務部施設課
	所在地	〒241-0801 神奈川県横浜市旭区若葉台4-20-1
	閲覧可能時間	10：00～16：00
冊子	冊子名	
	入手方法	
その他		

細則第38号様式（第2条第49号）
（総括票）

6の1 温室効果ガスの排出の抑制に係る目標等の状況（第1号及び第2号該当事業者）

基準年度 (2015年度)	基準排出量	6,060	t-CO ₂			基準原単位		t-CO ₂ /	
	調整後	5,973	t-CO ₂			目標原単位		t-CO ₂ /	
目標年度 (2018年度)	目標排出量	5,969	t-CO ₂	削減率	1.5 %	削減率		%	
排出の抑制に係る目標の設定の考え方	H25年度までの活動は、省エネルギーチューニング項目について掘り下げ実行した。H27年度までの活動は、設備更新を中心に活動したが、未だ老朽化した設備を多く残した。又、各施設の稼働率が上昇し、エネルギーを増加する要因となった。H28年度以降は、各施設の稼働率上昇を考慮しながら、経営を圧迫しない妥当な目標値として、上記数値を設定する。								
事業者全体としての目標等	H30年度末までに毎年0.5%、3年間で目標削減率1.5%をめざし活動していく。特に照明のLED化を基準活動とる。又、各施設毎に効果的で有効な設備更新や省エネ活動を実践していく。								
第一年度 (2016年度)	排出量	6,534	t-CO ₂	削減率	▲ 7.8 %	排出原単位		t-CO ₂ /	
	調整後	6,387	t-CO ₂	削減率	▲ 6.9 %		削減率		%
目標等の達成状況及び説明	各施設、LED照明更新を中心に電気使用量の削減を行った。又、給湯器やボイラの更新によりガス使用量の削減を行った。各施設、保健点数改正に伴い病床稼働率が上昇している為、エネルギー使用量が増加している。								
第二年度 (2017年度)	排出量	6,456	t-CO ₂	削減率	▲ 6.5 %	排出原単位		t-CO ₂ /	
	調整後	6,130	t-CO ₂	削減率	▲ 2.6 %		削減率		%
目標等の達成状況及び説明	各施設、LED照明更新を中心に電気使用量の削減を行った。各施設、空調更新を中心に電気使用量の削減を行った。各施設、保健点数改正に伴い病床稼働率が上昇している為、エネルギー使用量が増加している。								
第三年度 (2018年度)	排出量	6,055	t-CO ₂	削減率	0.1 %	排出原単位		t-CO ₂ /	
	調整後	5,630	t-CO ₂	削減率	5.7 %		削減率		%
目標等の達成状況及び説明	各施設、LED照明更新を中心に電気使用量の削減を行った。各施設、空調更新を中心に電気使用量の削減を行った。各施設、保健点数改正に伴い病床稼働率が上昇している為、エネルギー使用量が増加している。								
計画期間全体の排出状況に関する説明	各施設において3年間継続し、LED及び空調の更新を実施した。特に横浜旭中央総合病院において、建物1/3にあたる空調を全て入れ替え更新を実施、空調制御を行う為の、専用集中制御デマンドコントローラーを導入し、管理を行った効果の影響が大きい。目標に対し、大幅な削減が実行できた。								

細則第38号様式（第2条第49号）
（総括票）

6の2 温室効果ガスの排出の抑制に係る目標等の状況（第3号該当事業者）

基準年度 （年度）	基準排出量		t-CO ₂			基準原単位		t-CO ₂ /
	調整後		t-CO ₂				t-CO ₂ /	
目標年度 （年度）	目標排出量		t-CO ₂	削減率	%	目標原単位	削減率	%
排出の抑制に係る目標の設定の考え方								
事業者全体としての目標等								
第一年度 （年度）	排出量		t-CO ₂	削減率	%	排出原単位		t-CO ₂ /
	調整後		t-CO ₂	削減率	%		削減率	%
目標等の達成状況及び説明								
第二年度 （年度）	排出量		t-CO ₂	削減率	%	排出原単位		t-CO ₂ /
	調整後		t-CO ₂	削減率	%		削減率	%
目標等の達成状況及び説明								
第三年度 （年度）	排出量		t-CO ₂	削減率	%	排出原単位		t-CO ₂ /
	調整後		t-CO ₂	削減率	%		削減率	%
目標等の達成状況及び説明								
計画期間全体の排出状況に関する説明								

細則第38号様式（第2条第49号）
（総括票）

7 事業所等における温室効果ガスの排出状況

事業所等の規模 (原油換算エネルギー使用量)	基準年度		第一年度		第二年度		第三年度	
	事業所等の 数 (所)	排出量の 合計 (t-CO ₂)	事業所等の 数 (所)	排出量の 合計 (t-CO ₂)	事業所等の 数 (所)	排出量の 合計 (t-CO ₂)	事業所等の 数 (所)	排出量の 合計 (t-CO ₂)
3,000k l 以上								
1,500k l 以上 3,000k l 未満			1	3,055				
500k l 以上 1,500k l 未満	2	4,263	2	2,581	3	5,526	2	4,237
500k l 未満	2	1,797	1	898	1	930	2	1,818
合計	4	6,060	4	6,534	4	6,456	4	6,055

8 自動車における温室効果ガスの排出状況

自動車の区分	基準年度		第一年度		第二年度		第三年度	
	台数 (台)	排出量の 合計 (t-CO ₂)	台数 (台)	排出量の 合計 (t-CO ₂)	台数 (台)	排出量の 合計 (t-CO ₂)	台数 (台)	排出量の 合計 (t-CO ₂)
普通貨物自動車								
小型貨物自動車								
大型バス								
マイクロバス								
乗用自動車								
合計								
低公害かつ低燃費な車の 導入割合 (%)		%		%		%		%

細則第38号様式（第2条第49号）
（総括票）

9の1 重点対策の実施状況（第1号及び第2号該当事業者）

重点対策	実施状況の判断を行う単位	基準年度	第一年度					第二年度					第三年度						
			対策状況	実施済事業所数/対象事業所数	設備の種類、実施済設備数/対象設備数	完了予定年度(実施中、未実施の場合)	未実施・非該当の理由	実施状況	対策状況	実施済事業所数/対象事業所数	設備の種類、実施済設備数/対象設備数	完了予定年度(実施中、未実施の場合)	未実施・非該当の理由	実施状況	対策状況	実施済事業所数/対象事業所数	設備の種類、実施済設備数/対象設備数	完了予定年度(実施中、未実施の場合)	未実施・非該当の理由
第1号及び第2号該当事業者	1	推進体制の整備	事業者全体(市内分)	実施済	実施済	4/4	—	年度		実施済	4/4	—	年度		実施済	4/4	—	年度	
	2	主要なエネルギー使用設備の更新等の検討	事業者全体(市内分)	実施済	実施済	4/4	—	年度		実施済	4/4	—	年度		実施済	4/4	—	年度	
	3	機器管理台帳の整備	事業者全体(市内分)	実施済	実施済	4/4	—	年度		実施済	4/4	—	年度		実施済	4/4	—	年度	
	4	照明設備の運用管理	事業者全体(市内分)	実施済	実施済	4/4	—	年度		実施済	4/4	—	年度		実施済	4/4	—	年度	
	5	エネルギー使用量の把握	個別票対象事業所	実施済	実施済	3/3	—	年度		実施済	3/3	—	年度		実施済	2/2	—	年度	
	6	各種図面の整備	個別票対象事業所	実施済	実施済	3/3	—	年度		実施済	3/3	—	年度		実施済	2/2	—	年度	
	7	外気導入量の適正管理	個別票対象事業所	非該当	非該当	/	—	年度	空気環境測定対象外	非該当	/	—	年度	空気環境測定対象外	非該当	/	—	年度	空気環境測定対象外
	8	フィルター等の清掃	個別票対象事業所	実施済	実施済	3/3	—	年度		実施済	3/3	—	年度		実施済	2/2	—	年度	
	9	ポンプ、ファン及びブロワーの適正な流量管理	個別票対象事業所	実施済	実施済	3/3	—	年度		実施済	3/3	—	年度		実施済	2/2	—	年度	
	10	変圧器の需要率管理、効率管理	個別票対象事業所	実施済	実施済	3/3	—	年度		実施済	3/3	—	年度		実施済	2/2	—	年度	
	11	室内温度の適正管理	事業所	実施済	実施済	4/4	—	年度		実施済	4/4	—	年度		実施済	4/4	—	年度	
	12	地下駐車場の換気管理	事業所	非該当	非該当	/	—	年度	項目に該当する設備無し	非該当	/	—	年度	項目に該当する設備無し	非該当	/	—	年度	項目に該当する設備無し
	13	照明設備の高効率化	事業所	実施中	実施中	2/4	—	2018年度	LED照明：横浜旭576台更新139,376kwh/年削減 新都市93台更新37,552kwh/年削減	実施中	2/4	—	2018年度	LED照明：横浜旭679台更新209,452kwh/年削減	実施中	2/4	—	2021年度	LED照明：横浜旭467台更新104,319kwh/年削減
	14	事務所機器の待機電力管理	事業所	実施済	実施済	4/4	—	年度		実施済	4/4	—	年度		実施済	4/4	—	年度	
	15	機器性能管理	設備	実施済	実施済	(設備の種類) 2/3冷凍機	12/12	年度		実施済	(設備の種類) 2/3冷凍機	15/15	年度		実施済	(設備の種類) 2/3冷凍機	15/15	年度	
	16	冷凍機の冷水出口温度管理	設備	実施済	実施済	(設備の種類) 冷凍機冷水発生器	11/11	年度		実施済	(設備の種類) 冷凍機冷水発生器	11/11	年度		実施済	(設備の種類) 冷凍機冷水発生器	11/11	年度	
	17	燃焼設備の空気比管理	設備	実施済	実施済	(設備の種類) 2/3	4/4	年度		実施済	(設備の種類) 2/3	4/4	年度		実施済	(設備の種類) 2/3	4/4	年度	
	18	排出ガス温度の管理	設備	実施済	実施済	(設備の種類) 2/3	4/4	年度		実施済	(設備の種類) 2/3	4/4	年度		実施済	(設備の種類) 2/3	4/4	年度	
	19	蒸気配管のバルブ等の保温	設備	実施済	実施済	(設備の種類) 2/3	51/51	年度		実施済	(設備の種類) 2/3	51/51	年度		実施済	(設備の種類) 2/3	51/51	年度	
	20	工業炉表面の断熱強化	設備	非該当	非該当	(設備の種類) /	/	年度	項目に該当する設備無し	非該当	(設備の種類) /	/	年度	項目に該当する設備無し	非該当	(設備の種類) /	/	年度	項目に該当する設備無し
	21	コンプレッサの吐出圧の適正化	設備	非該当	非該当	(設備の種類) /	/	年度	項目に該当する設備無し	非該当	(設備の種類) /	/	年度	項目に該当する設備無し	非該当	(設備の種類) /	/	年度	項目に該当する設備無し
	22	コンプレッサの吸気管理	設備	非該当	非該当	(設備の種類) /	/	年度	項目に該当する設備無し	非該当	(設備の種類) /	/	年度	項目に該当する設備無し	非該当	(設備の種類) /	/	年度	項目に該当する設備無し

9の2 重点対策の実施状況（第3号該当事業者）

重点対策	実施状況の判断を行う単位	基準年度	第一年度					第二年度					第三年度				
			対策状況	実施済事業所数/対象事業所数	実施済車両台数/対象車両台数	完了予定年度(実施中、未実施の場合)	未実施・非該当の理由	実施状況	対策状況	実施済事業所数/対象事業所数	実施済車両台数/対象車両台数	完了予定年度(実施中、未実施の場合)	未実施・非該当の理由	実施状況	対策状況	実施済事業所数/対象事業所数	実施済車両台数/対象車両台数
第3号該当事業者	23	推進体制の整備	事業者全体(市内分)	/	—	年度		/	—	年度		/	—	年度			
	24	自動車の適正な使用管理	事業者全体(市内分)	—	/	年度		—	/	年度		—	/	年度			
	25	エネルギー使用量等に関するデータの管理	事業者全体(市内分)	—	/	年度		—	/	年度		—	/	年度			
	26	エコドライブ推進体制の整備	事業者全体(市内分)	/	—	年度		/	—	年度		/	—	年度			
	27	自動車の適正な維持管理	事業者全体(市内分)	/	—	年度		/	—	年度		/	—	年度			

10 目標対策及び事業者の発意による対策の実施状況

- （注意事項） ・対策の効果が重複して計上されない様にご注意ください。
 ・燃料・熱・電気等の使用量は、一年間での値に換算して記入してください。
 ・記載欄が不足する場合は、横浜市へご連絡ください。

		削減量合計 事業者総排出量		事業者総排出量 (t-CO2)		CO2排出量合計① (t-CO2)		CO2排出量合計② (t-CO2)		削減量合計 (t-CO2)					
		7.43 %		6,055		867.1		417.0		450					
連番	具体的な対策	事業所名	対策の実施年度 (西暦)	実施前				実施後				削減量 □(t-CO2)	投資金額		
				実施前の運用状況/設備状況	燃料・熱・電気等の使用量		CO2排出量 (t-CO2)	実施後の運用状況/設備状況	燃料・熱・電気等の使用量		CO2排出量 (t-CO2)				
					種別	使用量			単位	種別				使用量	単位
1	照明設備LED照明へ更新	明芳会 横浜旭中 中央総合病 院	2016	直管FLR40・FHF32 2灯用 183灯 直管FLR40・FHF32 1灯用 40灯 □275型 258灯 □450型 18灯 DL24w 209灯 他 計576灯	昼間買電	215	千kWh	109.9	直管4000lm27w183灯、 直管2000lm14w40灯、 □275型18w258灯 □450型29w18灯、 DL5.6w209灯 他 計576灯	昼間買電	75	千kWh	38.6	71.4	6,961 千円
2	照明設備LED照明へ更新	明芳会 横浜新都 市脳神経 外科病院	2016	直管FLR40・FHF32 2灯用 直管FLR40・FHF32 1灯用 □600型 他 計93灯	昼間買電	60	千kWh	30.7	直管FLR40・FHF32 2灯用 直管FLR40・FHF32 1灯用 □600型 他 計93灯	昼間買電	22	千kWh	11.5	19.2	2,000 千円
3	照明設備LED照明へ更新	明芳会 横浜旭中 中央総合病 院	2017	直管FLR40・FHF32 410灯 □275型 498灯 □450・550型 162灯 DL他 19灯 計679灯	昼間買電	270	千kWh	138.2	直管FLR40・FHF32 420灯 □275型・□450・550型 240灯 DL他 19灯 計679灯	昼間買電	61	千kWh	31.2	107.0	7,300 千円
4	A棟空調更新工事	明芳会 横浜旭中 中央総合病 院	2017	吸収式冷凍機2台及附属設備 FCU	昼間買電	498	千kWh	254.7	EHP 冷房能力885.9kw 暖房能力967.1kw	昼間買電	552	千kWh	282.5	92.1	162,000 千円
				都市ガス	52	千m3	120.0	都市ガス		0	千m3	0.0			
5	照明設備LED照明へ更新	明芳会 横浜旭中 中央総合病 院	2018	直管FLR40・FHF32 387灯 □275・450・550型 50灯 DL他 30灯 計467灯	昼間買電	417	千kWh	213.5	直管FLR40・FHF32 387灯 □275・450・550型 50灯 DL他 30灯 計467灯	昼間買電	104	千kWh	53.2	160.3	4,129 千円

細則第38号様式（第2条第49号）
（総括票）

11 再生可能エネルギー利用設備等の導入状況

番号	設備機器の種類	導入年度	性能等	備考
1	横浜旭中央総合病院 LED照明	2015年度	パナソニック4000lm27w300灯、2000lm14w70灯、400lm6w258灯他 計約900灯	$(67w-27w) \times 300灯 = 12kw$ 、 $(34w-14w) \times 70灯 = 1.4kw$ 、 $(60-6) \times 500灯 = 27kw$ 合計40.4kw削減
2	横浜旭中央総合病院 LED照明	2016年度	パナソニック直管4000lm27w183灯、2000lm14w40灯、□275型18w258灯□	139,376kwh/年削減
3	横浜新都市脳神経外科 LED照明	2016年度	パナソニック直管4000lm27w15灯、2000lm14w54灯、□600型35w9灯 計93	37,552kwh/年削減
4	横浜旭中央総合病院 LED照明	2017年度	パナソニック直管4000lm～2000lm420灯 パナソニック□275～600型240灯他19灯計	209,452kwh/年削減
5	横浜旭中央総合病院 LED照明	2018年度	パナソニック直管4000lm～2000lm387灯 パナソニック□275～600型50灯他30灯計467	104,319kwh/年削減

12 クレジット等に関する取組状況

番号	種類	年度	オフセット対象範囲	特定温室効果ガス換算量	備考
1	電気の使用	2018年度	横浜市内事業所	425	東京電力エナジーパートナー(株)
2		年度			
3		年度			
4		年度			
5		年度			

13 その他の地球温暖化を防止する対策の実施状況

基準年度までの対策	1. 廃棄物排出量の把握及び削減に係る対策（横浜市条例第19条第1項の規定に基づく） 2. 従業員の自動車利用から公共交通機関への誘導対策及び利用促進に係る対策 3. 施設周辺の緑地化対策
計画期間内に実施する対策	1. 廃棄物排出量の把握及び削減に係る対策（横浜市条例第19条第1項の規定に基づく）の継続 2. 従業員の自動車利用から公共交通機関への誘導対策及び利用促進に係る対策の継続
第一年度実績	1. H27年度廃棄物総排出量474.17 t H28年度廃棄物総排出量480.49 t 昨年度対比6.32 t 増加 2. 従業員への公共交通機関利用規制実施（医師・看護師・役職者を除く一般職員対象）
第二年度実績	1. H28年度廃棄物排出量480.49 t H29年度廃棄物排出量455.08 t 昨年度対比25.41 t 削減 ※排出量＝非リサイクル総排出量 2. 従業員への公共交通機関利用規制実施（医師・看護師長・役職者を除く一般職員対象）
第三年度実績	1. H29年度廃棄物排出量455.08 t H30年度廃棄物排出量442.03 t 昨年度対比13.05 t 削減 ※排出量＝非リサイクル総排出量 2. 従業員への公共交通機関利用規制実施（医師・看護師長・役職者を除く一般職員対象）

14 実施状況等に対する自己評価

病院経営が年々厳しくなる昨今、「経営における経済効果と地球温暖化対策」という概念で、我々に実践出来る事を計画し実行してきました。
老朽化した照明器具のLED化や空調設備更新を順次実践する事で、患者様の療養環境の充実と地球温暖化対策の貢献に繋がったと思います。
又、エネルギー推進者会議等を通し、職員に地球温暖化対策における環境教育を充実させていく事で、施設内のみならず職員が居住している地域でも、地球温暖化対策が自主的に実践できるような社会を築く事を、今後も実践していきます。